

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	辻堂小学校再整備事業	階数	地上3F
建設地	藤沢市辻堂東海岸一丁目7285番外	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2031年2月 予定	評価の実施日	2025年12月18日
敷地面積	19,610 m ²	作成者	株式会社ユニバサル設計埼玉事務所
建築面積	3,942 m ²	確認日	2025年12月19日
延床面積	8,508 m ²	確認者	株式会社ユニバサル設計埼玉事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 81%

③上記+②以外のオンサイト手法: 76%

④上記+オフサイト手法: 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4.0

Q1 室内環境: 3.0

Q3 室外環境(敷地内): 4.0

LR1 エネルギー: 4.2

LR2 資源・マテリアル: 3.4

LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.4
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.4
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

生物環境	3.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	5.0
設備システム効率化	4.2
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源保護	3.8
非再生材料の使用削減	3.4
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	地球の環境負荷低減の為、高いレベルの省エネ、再エネ性能を導入している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	・庇+カーテン等グレア対策への配慮を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) ・景観への配慮を行っている。・地域性への配慮を行っている。
LR1 エネルギー	・省エネルギー性能に配慮している。・中庭換気ボイドが全ての普通教室に寄与している	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率削減に配慮している。・交通負荷抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い部品部材を採用。ゆとりのある階高と空間の自由さに配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	建物の節水性に配慮している。躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される